

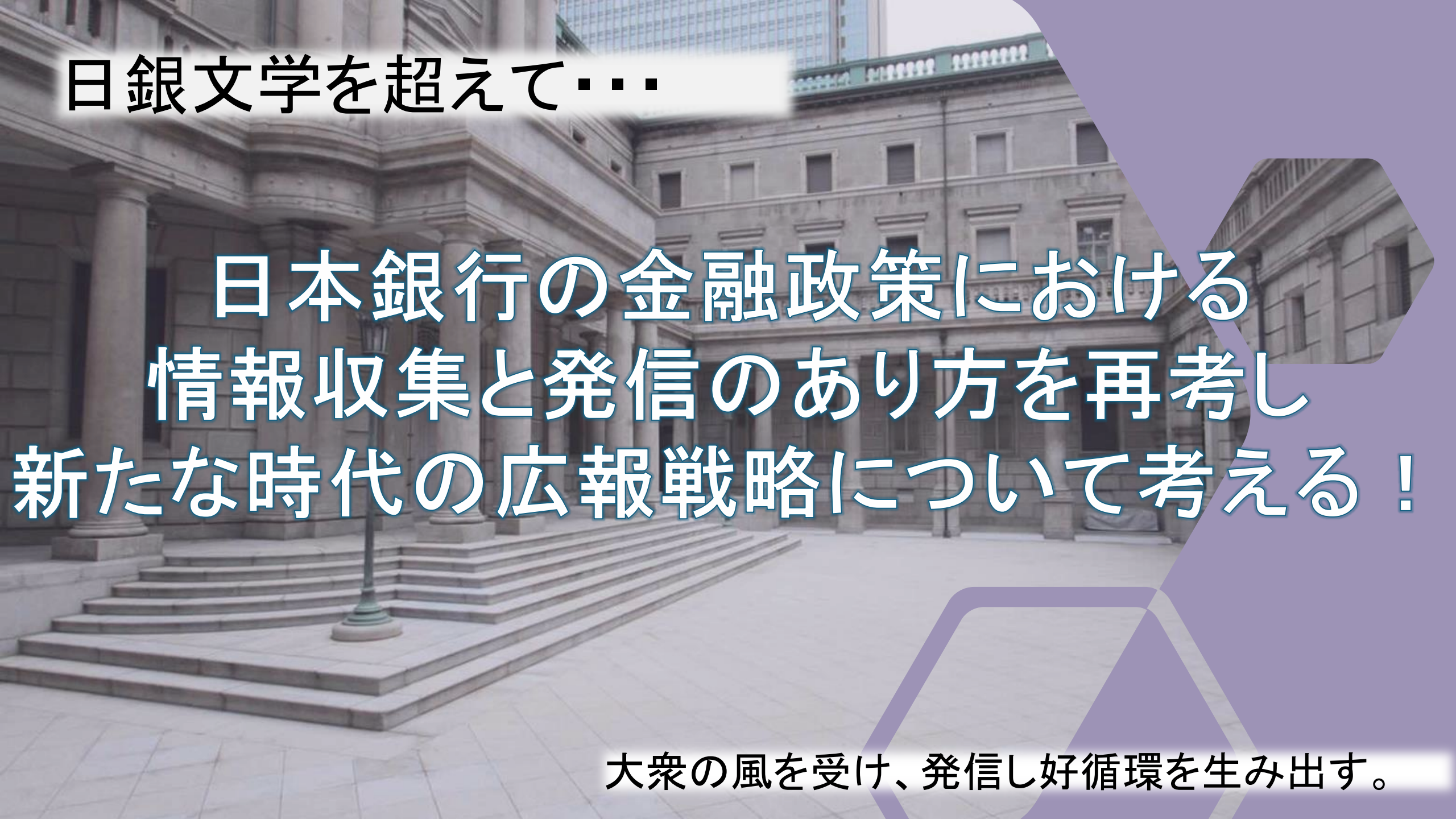


「日銀文学」を超えて

～風を読む経済情報の可視化と発信改革～

帝京平成大学

森山 颯太
山本 渉太



日銀文学を超えて・・・

日本銀行の金融政策における
情報収集と発信のあり方を再考し
新たな時代の広報戦略について考える！

大衆の風を受け、発信し好循環を生み出す。

目次

1

はじめに 政策提言の経緯

2

「風」とはなにか

3

金融政策決定プロセス

4

日銀文学とその実態

5

日本銀行のあるべき姿

6

日銀文学を超えて

7

今後の展望

An aerial photograph of a Japanese castle, likely Matsuyama Castle, perched on a hill. The castle has multiple tiers with dark roofs and white walls. The hillside is covered in numerous cherry blossom trees in full bloom, their white flowers contrasting with the green grass. In the background, a town with various buildings is visible, and a river flows through the lower left portion of the image. The overall scene is peaceful and scenic.

1

はじめに 提言政策の経緯

～地方創生の実務家やエコノミストへの取材を経て～

各地で活躍する実務家たち

自主的にゼミで調べた各地域の活性化や地方創生



各地の実務家は、地域の状況・トレンドである「風」を読み、発信を行うことで成功を掴んでいた。
日本銀行も国内の「風」を読み、政策に活かすことができるのではないかと考えた。



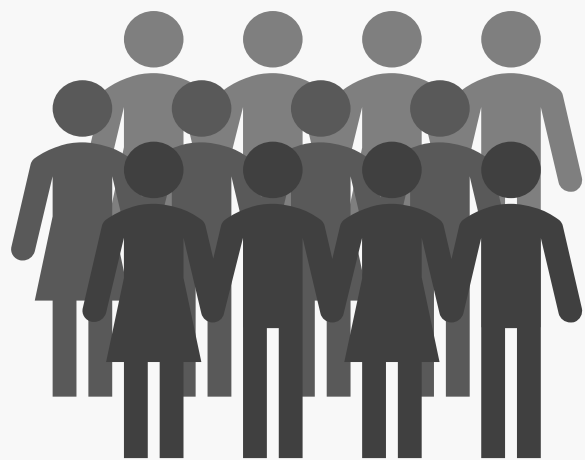
2

「風」とはなにか

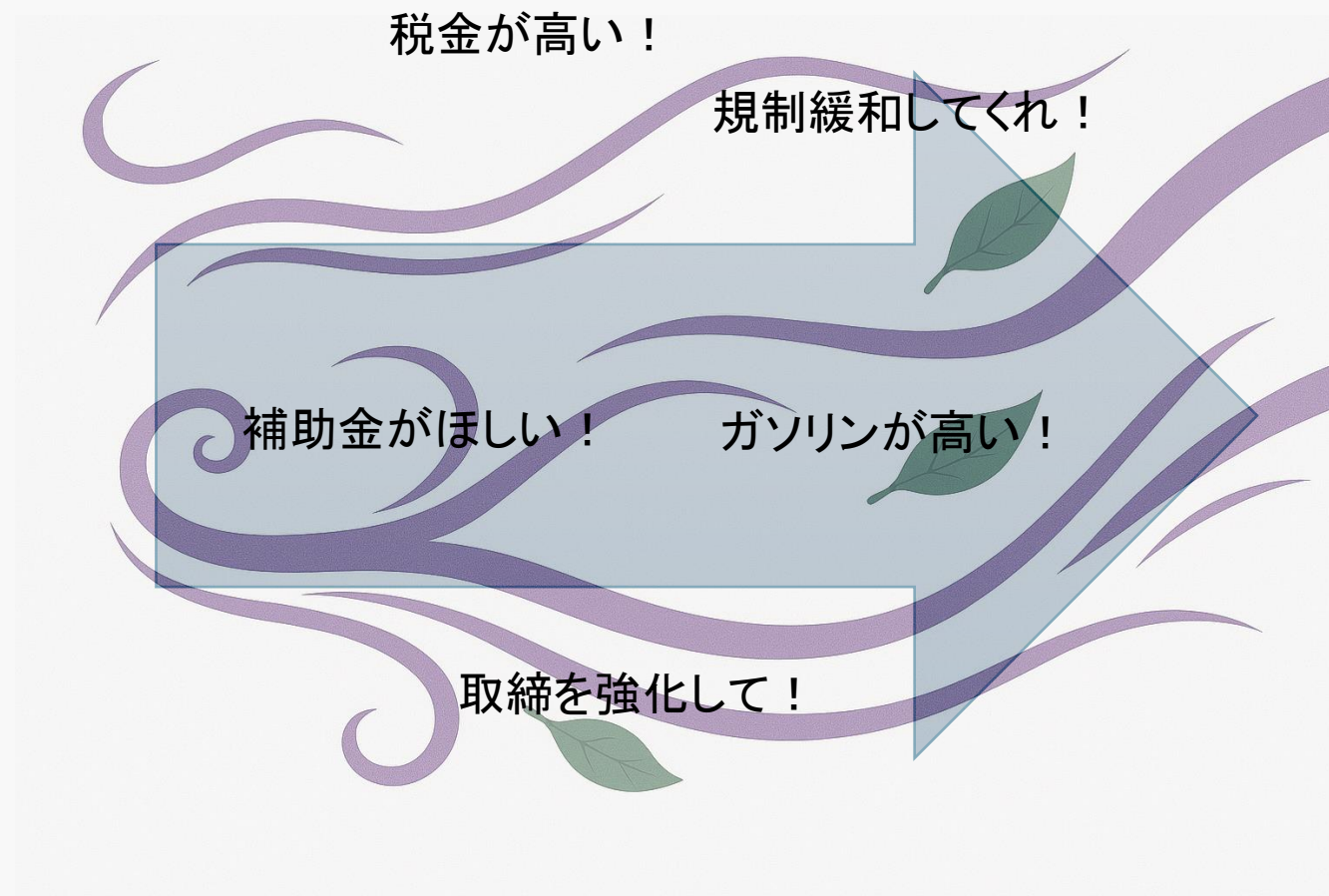
～可視化の手段と対話型AI活用～

風とは.....

大衆の声の流れ



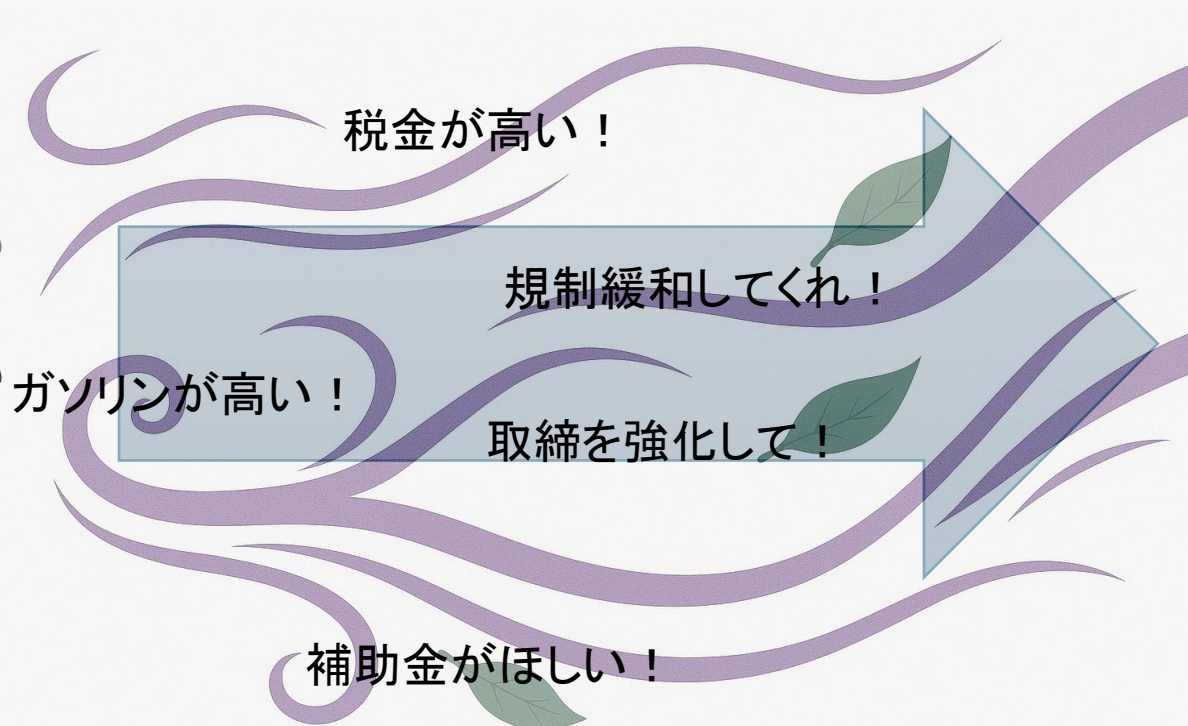
一般大衆



政府など



一般大衆



政府など

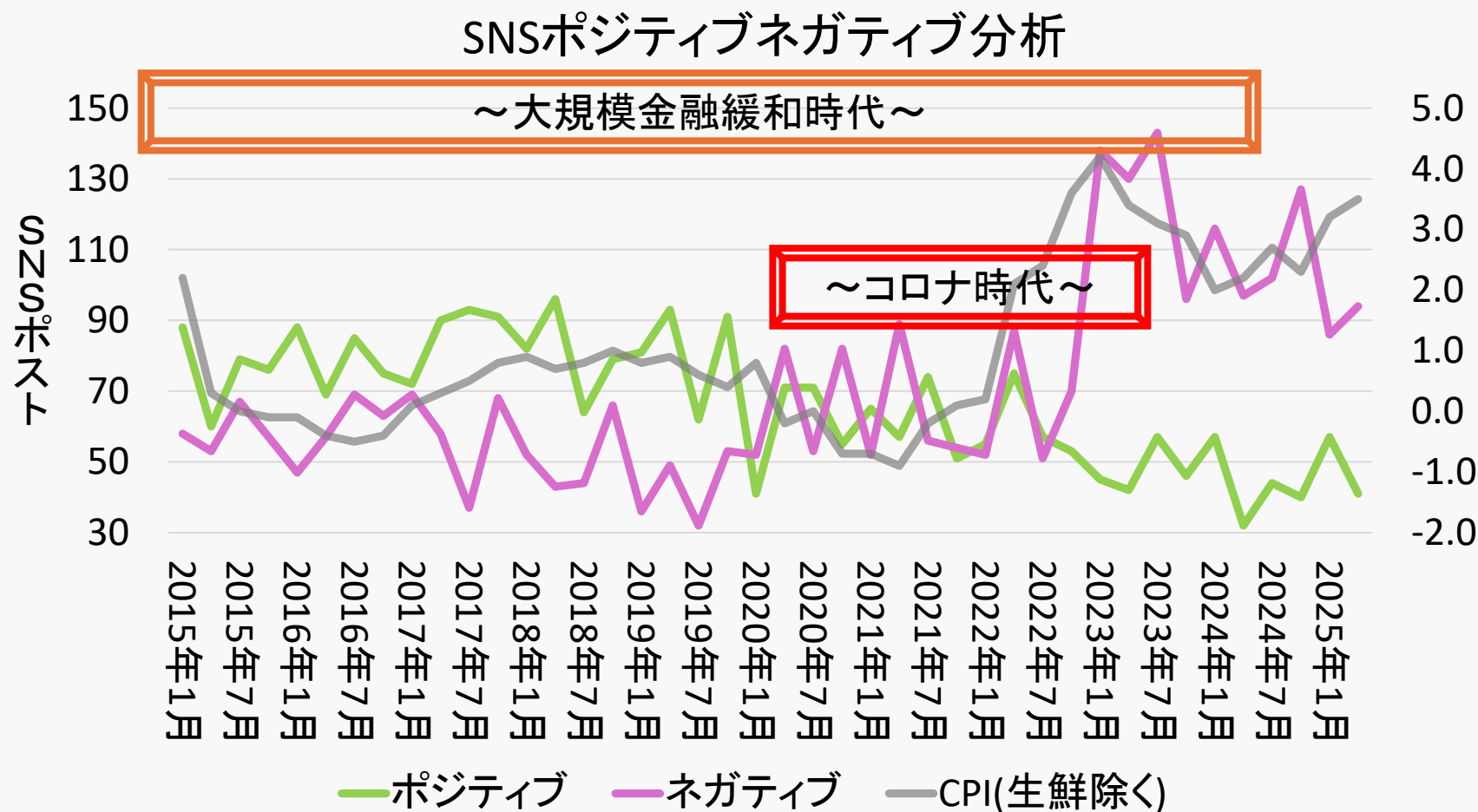
風は政府に対するモノが多い！？

金融政策に関するモノもある！？



日本銀行

大規模金融緩和時代のSNSから見る国民の「風」



SNS投稿データを収集

AIにて
ポジティブ
ネガティブ
の仕訳を行った。

風は国民の重要な声ではあるが、全て正しいとは限らない！

大規模金融緩和時代においては
異次元緩和に対してポジティブに捉えている意見が多く見られた。

→ 世論が異次元緩和政策を後押ししていたと捉えられる！

風が経済的合理性に基づいているとは限らない！

「風」について まとめ

「風」は政府などに向けられた、国民の声

AI時代には、学部生でも可視化が可能に

「風」は経済的合理性に基づいたものとは限らない

日本銀行はこれらを踏まえたうえで、活動する必要がある。

3

金融政策決定プロセス

～収集される3つのデータ群とその活用の流れ～

「風」は金融政策にどういった影響を与えているのか

情報収集？

政策？

情報収集フェーズ

- ・数々のデータを収集、分析
- ・日本銀行独自のヒアリングも含む

伝統的データ群

CPI など

ヒアリングデータ群

さくらレポート など

オルタナティブデータ群

POSデータ分析 など

情勢判断フェーズ

- ・方針の決定
- ・日本銀行の公式見解

展望レポート作成

政治的要因

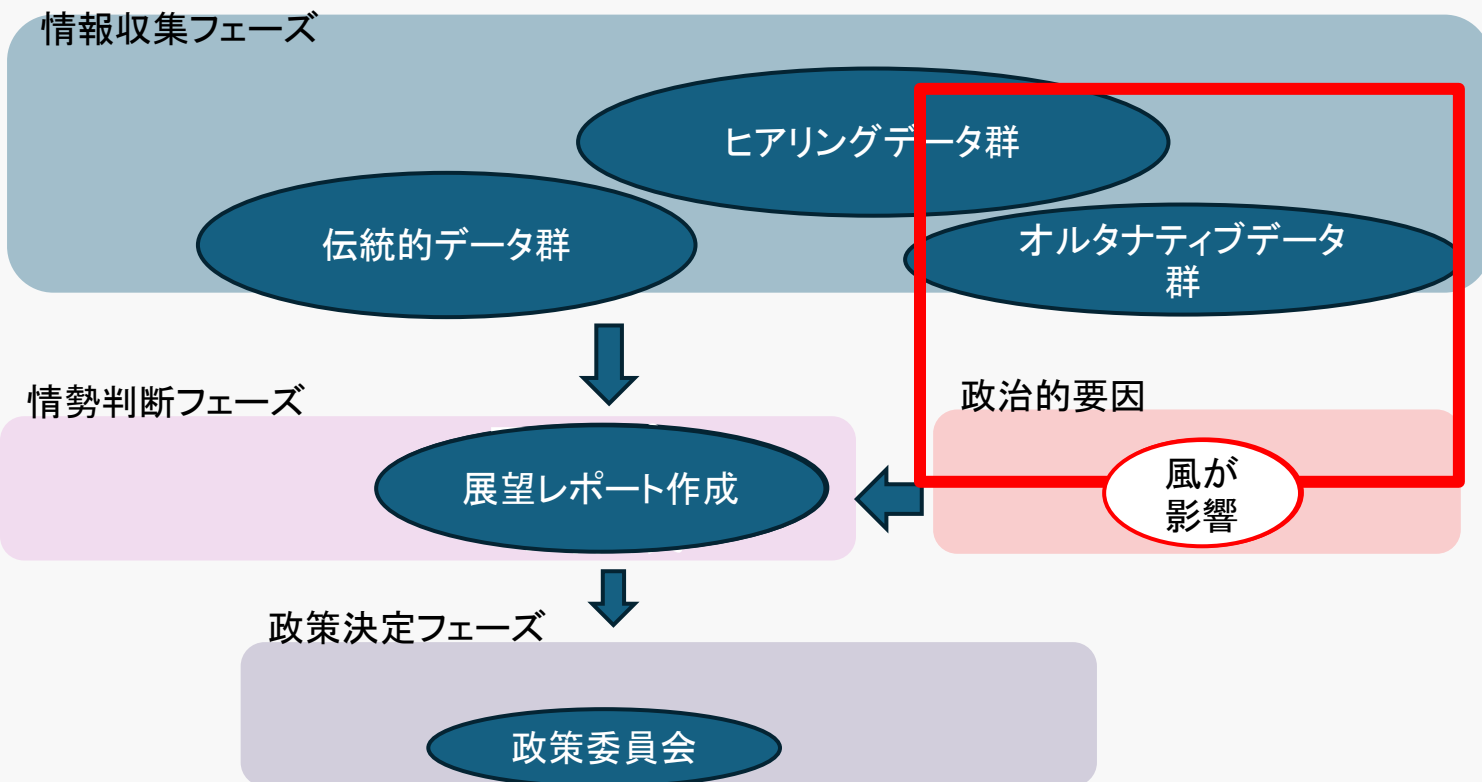
- ・政策の方針
- ・世論の流れ

風が影響

政策決定フェーズ

政策委員会

- ・金融政策決定
- ・総裁記者会見など発信も



風自体は
オルタナティブデータに分類
ヒアリングデータにも一部影響

情勢判断フェーズでは
政治的要因を通じた形で
影響を与えている。

「風」は金融政策にどういった影響を与えているのか

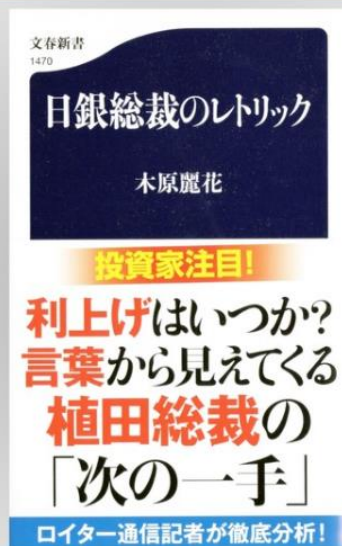
情勢判断に影響する一部の情報や
政治的要因等に影響を与えている

4

日銀文学とその実態 ～対話型AIによる見える化～

『日銀総裁のレトリック』木原麗花著 文春新書 1100円

🔍 📖 📅 2024年11月22日



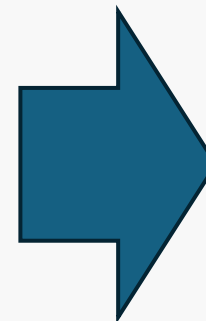
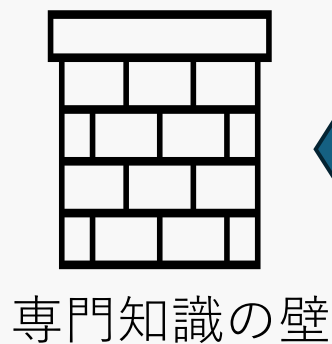
『日銀総裁のレトリック』木原麗花著 文春新書 1100円

利上げ判断などが国内外の注目を集める日銀。海外通信社の記者が、難解な表現が多く「日銀文学」と評される総裁らのメッセージを基に、その真意や歴代総裁の特徴を解説した。例えば異次元の金融緩和を断行した黒田東彦氏は、当初は物価展望などでモダリティ（確信）が強い発言が目立ったが、政策の副作用が始めると次第に低下。現職の植田和男氏は説明が丁寧な分、意図を誤解されやすいという。金融政策を身近に感じられる秀逸な分析が光る。（W）

「難解な表現」が多いことから、
「日銀文学」と評される

「日銀総裁のレトリック」
解説書のような本が登場するほど

内容把握は難しい！



経済・株価予想を行う！



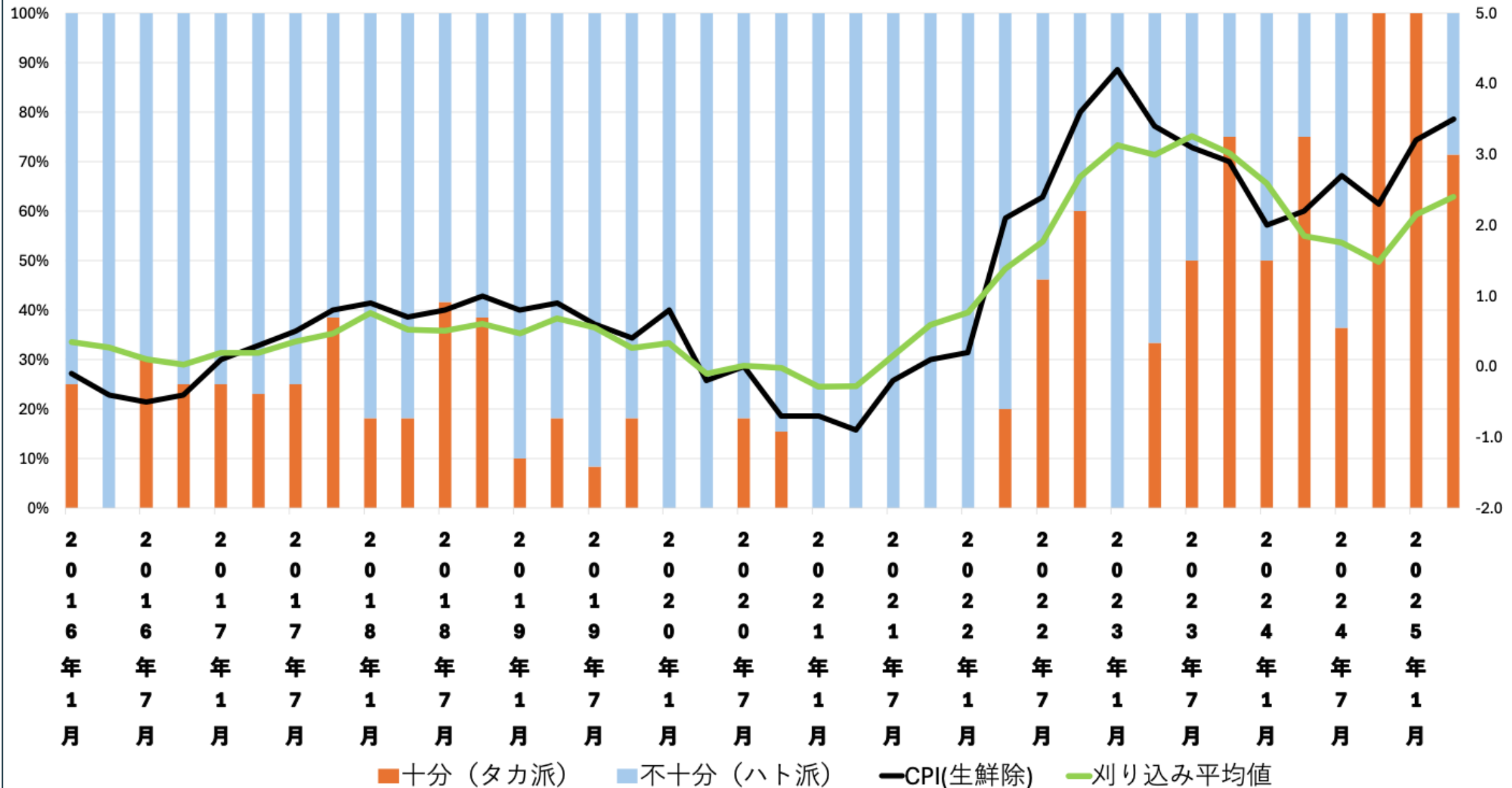
日銀文学（展望レポート）はプロ向けにとどまっている。

誰でも難解な内容を理解できるように定量化を行った。

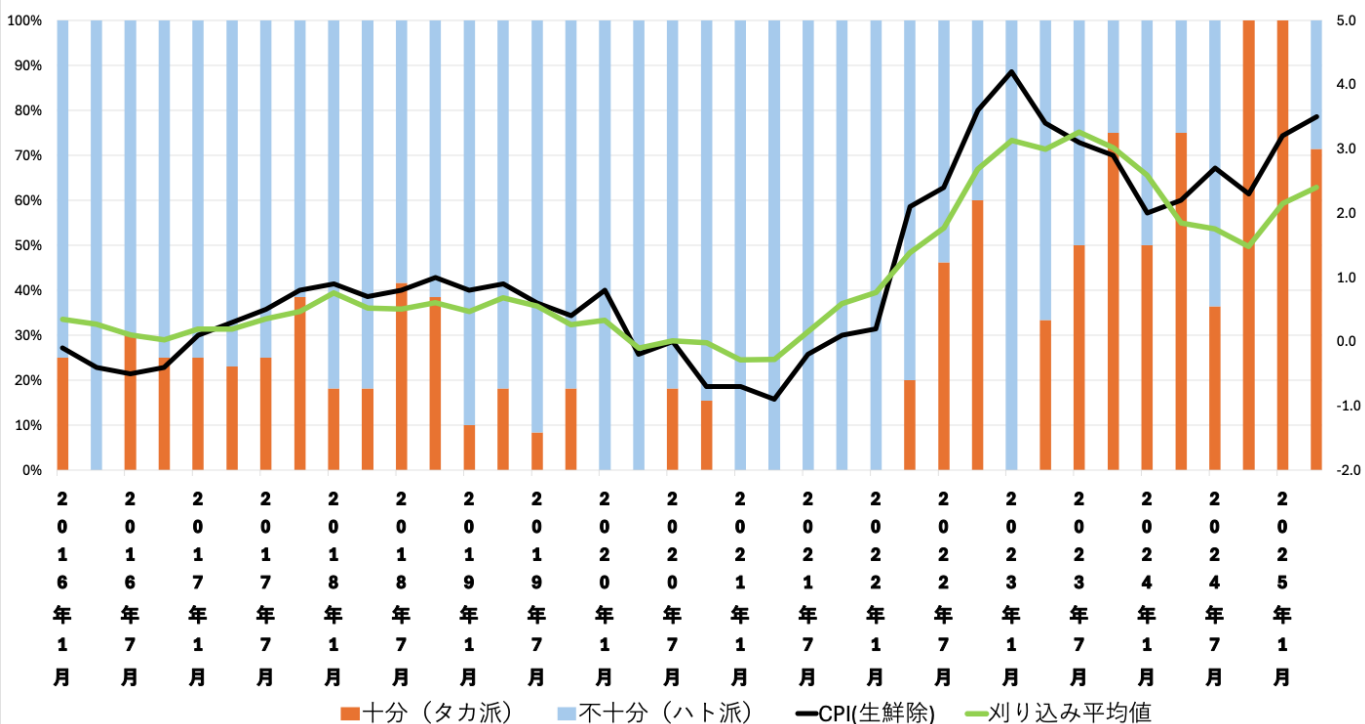
数年前はプロしかできなかった分析が、文系大学生でも可能になった！？

対話型AIに「経済・物価情勢の展望」レポートの基本的見解部分を
読み込ませ、各レポートの記述の中から
「利上げを行うことが十分な水準にある」と読み取れる文章、
「利上げを行うことが不十分な水準にある」と読み取れる文章を数え、
前者が多い場合をタカ派、後者が多い場合をハト派として分析した。

展望レポートの分析



展望レポートの分析



・2016年1月から2025年7月分まで実施

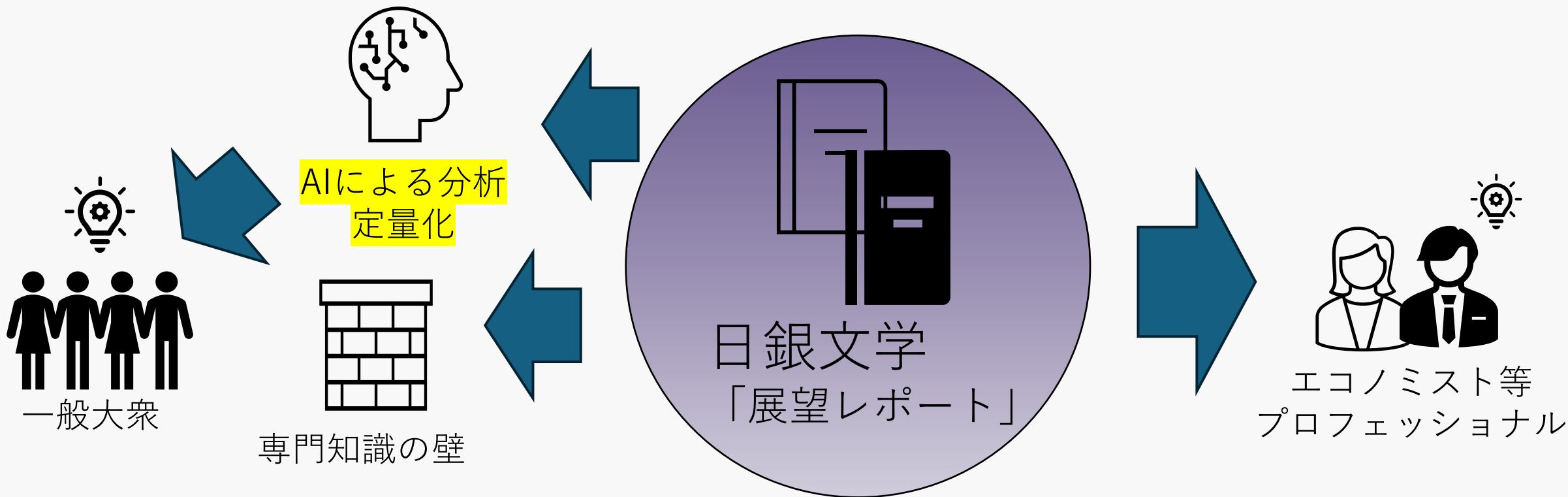
・CPI(前年度同月比)と比較した場合、それに応じてタカ派の割合が上昇しているが、実際には時差があるように見受けられる。

・これはいわゆる認知ラグが発生していることを示唆しているとも考えられる。

このラグの原因は様々なものが考えられるが、いずれにせよ日銀文学による広報にもやはり限界はあり、より多面的な広報戦略が必要であると考え。

文章が中心の展望レポートを定量化し、可視化することができた。

内容把握がある程度可能に！？



定量化を行い、可視化したタカ派の割合の推移とCPIの推移には0.6を超える正の相関が見られた。

→ 定量化の精度がそれなりに高いことを示している。

しかしながら、タカ派の推移とCPIの推移にはある程度の時差が発生している。

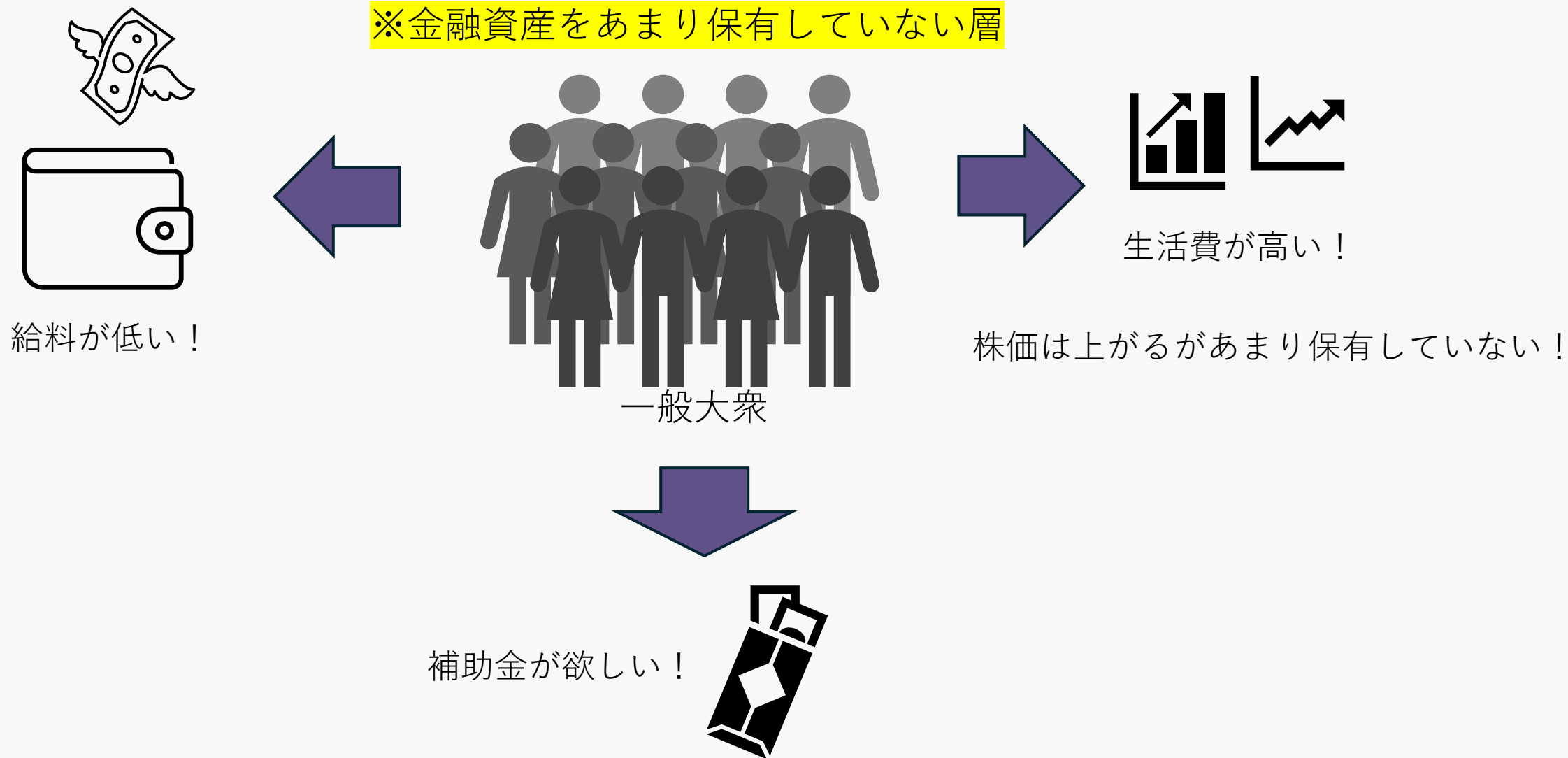
→ 情勢判断に若干の遅れは発生してしまう。

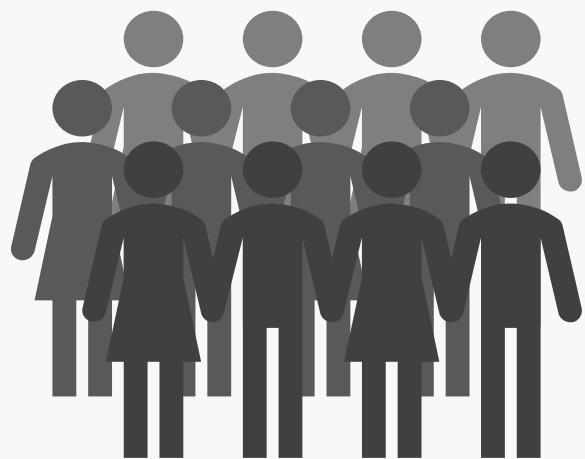
定量化は精度が高く、読み解きやすいが、CPIとは時差が発生するなど「限界」がある。

5

日本銀行のあるべき姿

～今求められている新たな発信戦略～





一般大衆

生活費が高い！

給料が低い！



補助金が欲しい！



政府など

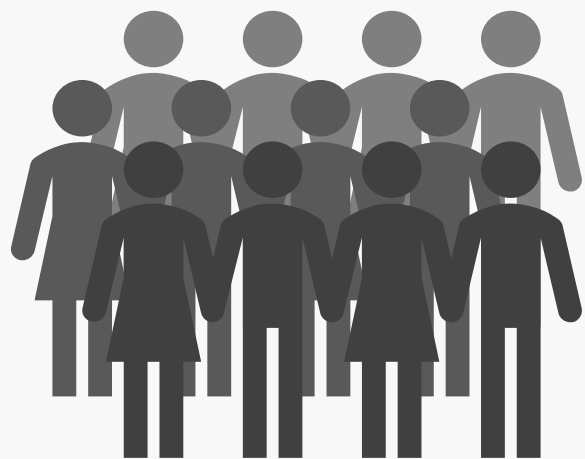
日本銀行はどう動く！？



日銀行員



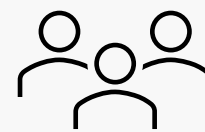
日本銀行



一般大衆



政府など



日銀行員

日本銀行からさらに風を起こす！？



日本銀行

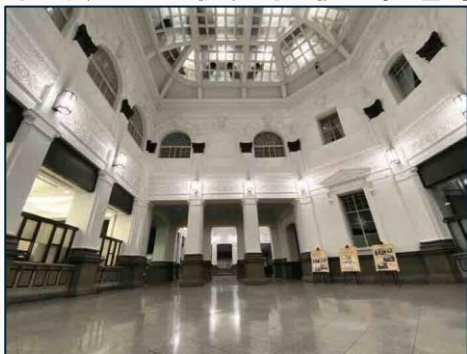
「経済・物価情勢の展望レポート」

ハイライトについてはSNSでも発信
専門家向けの情報発信



日本銀行本店見学

日本銀行の役割・使命を解説



YouTube紹介動画

中央銀行の役割を落語家が紹介



重要な役割1
日本銀行券の発行

重要な役割2
物価の安定

重要な役割3
金融システムの安定

広報誌「にちぎん」

エッセイと共に、金融政策、展望レポートの解説





FRB(連邦準備制度理事会)



「Fed kids」

子供向け教育プログラム



ECB(ヨーロッパ中央銀行)



「ECB Explains」

動画等で金融政策の解説



イングランド中央銀行



「イングランド銀行博物館」

いわゆる金融博物館
日銀貨幣博物館と同様

ジャマイカ中央銀行では、インフレーターゲット政策を紹介する
「レゲエ音楽」
を用意し、広報に利用している。

これは金融リテラシー以前に、識字率の問題が大きいと考えられる。



社会的アイデンティティの影響も！

行動経済学では、社会的なアイデンティティが期待インフレ率に影響することが実証されている。

情報発信者と受信者の社会的アイデンティティ(性別・居住地等)が近いほど、より情報が正確に伝わりやすい。(受け止められやすい)

何を発信するかのみならず、
「誰」が発信するのかといった工夫も求められる。

6

公表時間
10月31日（金）14時00分

 日本銀行
BANK OF JAPAN

日銀文学を超えて

経済・物価情勢の展望

2025年10月



日銀文学においては

AIを駆使し、定量化してもなお

経済情勢について
理解することは難しい

「風」を見極め、必要に応じて「風を起こし返す」発信力
すなわち、政策意図や情勢判断を世論に対して
的確かつ積極的に伝える力を強化することが
今後ますます重要になると考えられる。

日銀文学においては

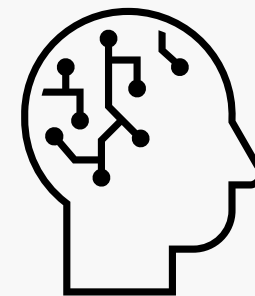
日銀文学を超え、
国民の発する「風」を見極めた、
新たな広報戦略の構築が、
今求められている

「日銀文学」は、主として「日銀文学」を指している。

7

今後の展望

「風」を読み解く情報収集方法の確立
SNSデータなどオルタナティブデータの
取得分析方法を確立



「風」に合わせた新たな情報発信
対話型の発信や、SNS等を活用した発信



「風」も間違える⇒ではどうする？

「大規模金融緩和政策」終了後
日銀では大規模な政策レビューを実施

それに加えて
「風」の適否(暴走?)等の事後フォロー・検証制度の確立を目指すべき

正確に言えば、「風」を受け実施した政策のレビュー検証と
一般向けの広報体制の確立

これができるのは中立性を確保しえた中央銀行のみ!!!

参考文献

- 「オルタナティブデータ分析」、日本銀行ホームページ、日本銀行、(<https://www.boj.or.jp/research/bigdata/index.htm>、筆者最終アクセス9月30日)
- 「経済・物価情勢の展望」、日本銀行ホームページ、日本銀行、(<https://www.boj.or.jp/mopo/outlook/index.htm>、筆者最終アクセス9月30日)
- 「広報誌にちぎん」、日本銀行ホームページ、日本銀行、(https://www.boj.or.jp/about/koho_nichigin/index.htm、筆者最終アクセス9月29日)
- 「広報ビデオ:そこが知りたい日本銀行」、日本銀行ホームページ、日本銀行(<https://www.boj.or.jp/about/education/thisisboj.htm>、筆者最終アクセス9月29日)
- 金融政策を楽しく学ぼう！ ジャマイカの中央銀行が採用した、ちょっと変わったPR動画が話題に<https://www.businessinsider.jp/article/183537/>
- 政治経済情勢活用会、「日本銀行の「展望レポート」をサラリーマンも読むべき理由 - "日銀文学"と呼ばれる資料の行間の読み解き方 - ※経済物価情勢の展望 2025年5月1日公表分」、note、2025年、(<https://note.com/pesu1759/n/ncad4d20f4f47>、筆者最終アクセス9月29日) (<https://www.businessinsider.jp/article/183537/>、筆者最終アクセス9月30日)
- 井澤公彦、亀井郁夫、柴田菜緒、高橋悠輔、米山俊一、「大規模言語モデルを用いた新たなテキスト分析の取組みー最近の賃金・物価動向に関する分析への応用ー」、日本銀行、2024年
- 和泉潔・坂地泰紀・松島裕康、「金融・経済分析のためのテキストマイニング」、株式会社岩波書店、2021年
- 白川方明、「中央銀行:セントラルバンカーの経験した39年」、東洋経済新報社、2018年
- 藻谷浩介、「里山資本主義」、株式会社KADOKAWA、2013年
- 渡辺努・辻中仁士、「入門オルタナティブデータ 経済の今を読み解く」、株式会社日本評論社、2022年
- Takuya Iinuma, Yoshiyuki Nakazono, Kento Tango, "Monetary Policy Communication and Social Identity: Evidence from a Randomized Control Trial", Japanese Economic Review, 2025 (行動経済学第18回大会、2024年12月発表、「金融政策のコミュニケーションと社会的アイデンティティ」(筆者訳))
- 木原麗花、「日銀総裁のレトリック」、文春新書、2024年

ご清聴ありがとうございました